令和７年度　スクールプラン

学校教育目標

自ら学び考え、協働し　人間性豊かに、ウェルビーイングの深化を図る生徒の育成

～ 挑戦　成長　そして飛躍へ ～

西中PRIDE　挨拶　学び　清掃　歌声

千葉県教育の基本理念

ちばの教育の力で
「県民としての誇り」を高める！
「人間の強み」を伸ばす！
「世界とつながる人材」を育てる！

東金市の基本理念

未来へつなぐ　教育のまち
東金の創造

ウェルビーイングとは何か

ウェルビーイングとは何か：
今なぜウェルビーイングが必要なのか？

- Well-being: 新しい「ものさし」・コンセプト

経済だけではなく「こころ」の充足、生活への評価・感情・価値、健康まで含めてとらえる

- 自分の生きる道だけではなく、家族や友人、自分の住む街・国が、どのようにすれば「良い状態」でいられるのかについて考えること
- 「幸せ」とウェルビーイングの違い：
  - happiness = より短期的で個人的な状況評価・感情状態
  - Well-being = より包括的で、個人のみならず個人をとりまく「場」が持続的によい状態であること

ウェルビーイングの深化

- 今が楽しい
  （個人・現在）
- これからの将来に希望を持てる
  （個人・将来展望）
- クラスや地域の人の幸せを願う
  （社会・共生）
- この町・学校・世界を良くしていきたい
  （利他性・公共・持続）

ウェルビーイングの深化

出典　「教育政策における ウェルビーイング」京都大学 内田 由紀子（中央教育審議会委員）、ジェルミー　ラプリー
(https://www.mext.go.jp/kaigisiryo/contet/000177757.pdf)

校内研究

研究主題

自立した学習者を育てるための
振り返りを用いた授業改善

～メタ認知と自己調整力を育み、
主体的な学びを実現する～

学校経営の基本方針

（１）教職員は、生徒・保護者・地域社会との信頼関係を基盤とし、共に活力のある明るい学校づくりに努める。
（２）「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、人生を主体的に切り拓く学びを確立する。
（３）生徒の理解に努め、集団との適応と自己実現をめざす生徒指導の徹底を図る。
（４）特別支援教育の充実を図り、社会的自立に向けた能力の育成に努める。
（５）健康安全に関する理解と基本的生活習慣の確立に努め、心身の健康の向上を図る。
（６）職員の能力・特性を活かし、協働体制による活力ある学校運営を行う。

（注）「COPD」サイクル
　全国学力・学習状況調査等から生徒個々の状況や集団の傾向を把握し、それまでの学習への取組と効果を検証し、今後の手立ての確立、実践・改善へとつなげるサイクル

C…（Check：評価）これまでの評価や結果を確認する
O…（Observe：観察、Orient：方向づけ）現状を分析し、課題や今年度の到達点を明らかにする
P…（Plan：手立て）到達点に行き着くための具体的な手立てを考える
D…（Do：実践）考えた手立てを実践する

具体的な取組

人生を主体的に切り拓くための学力の向上

○ 生徒に身に付けさせたい資質・能力を各教科で明確にし、指導と評価の一体化を進め、指導及び学習の「ＣＯＰＤ」サイクルを構築
○ 読解する力、考える力、記述する力を高めるため、授業等に「Ｒ８０」等、学びを振り返る場面の「自分の言葉でまとめを書く」活動を取り入れた、適切な評価機会を設定
○ 確かな学力の定着と向上を図るため、授業規律や計画的・継続的な学習（家庭学習含む）の確立を目指した個別最適な学習ガイダンスの充実、及び授業改善
○ 学習意欲の向上を図り、主体的・対話的で深い学びにつながる学習とするための、学習課題の提示の工夫及び、生徒の疑問等を起点とした課題を協働して解決する場を設けた授業づくり
○ 「学びの保障」のための多様な学習指導の展開
○ 「キャリアパスポート」を活用するなど、社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力の育成に努めるとともに、主体的で計画的な進路選択ができる指導支援

特別支援教育の充実

○ 個々の教育的ニーズに応じた教育課程の編成及び支援・指導の充実、特別支援教育の視点を生かした学習指導支援・生徒指導支援
○ 保護者や外部機関と連携した、個々の生徒に適した指導支援

健康・安全教育の充実

○ 自助・共助の精神を養い、安全についての実践的な能力と態度の育成
○ 健康教育・食育を推進し、望ましい生活習慣の確立
○ 登下校の安全指導、防犯に関する対応指導、防災教育の充実、感染症予防や熱中症予防に関する対応指導等、学校危機管理マニュアルに基づく安全で安心な学校づくり
○ 体育的行事、部活動等を通して、心身を鍛えるとともに、怪我の予防・防止対策・指導を的確に行い、最後までやり遂げる、たくましく、しなやかな心の育成

「協働的な学び」を支える集団づくり

○ 全教育活動を通して、思いやりの心や命を大切にする、心の教育をすすめるとともに、規範意識等の醸成を図った、協働を基盤とした集団
○ 「道徳」の学習を柱にした、道徳的価値への理解と道徳性の育成
○ 学校行事、生徒会活動、学級活動、清掃活動、部活動等を通して集団での絆づくりや所属感等の醸成及び非認知能力の育成、加えて自己肯定感、自己有用感の涵養
○ 教育相談アンケート等を適時実施し、きめ細かな対応を早期に実施するとともに、平時から生徒・保護者との連携の更なる強化を図った、安心できる居場所や環境づくり
○ 客観的な集団アセスメントを活用した、生徒個々、集団の実態、状況の把握、十分な分析や吟味等を踏まえた指導支援を行うとともに、ソーシャルスキルトレーニング等を取り入れた、好ましい人間関係づくり

信頼される学校・活力ある学校づくりの推進

○ HP、メール配信、各種だよりの活用及び教育活動等の公開をより積極的に行うなど、保護者や地域に対して、よりわかりやすい情報の発信
○ 家庭・地域・学区内小学校・関係機関との協力体制を密にした教育活動の推進
○ 学校評価等を生かした「COPD」サイクルによる教育活動の組織的・継続的な学校改善に努めるとともに、生徒会、PTAや学校運営懇談会等からの意見等を適切に活用した、保護者・地域と共にすすめる学校づくり

協働体制による活力ある学校運営

○ 業務等に係る報告、連絡、相談、確認、及び情報共有・共通理解の徹底、必要に応じた共通指導を行うとともに、職員間の有機的なつながりの構築
○ 各業務や取組における目的の再確認等を通じた重点化、焦点化を図り、教育効果等を検証し、DXの推進に積極的に取り組むとともに、部活動の地域展開に係る取組の具体を検討、実践するなど、業務改善、職員の働き方改革を更に進め、生徒と向き合う時間の充実及び持続可能な教育活動の展開